

美浜リポート

2011年1月30日



民主党

〒261-0004 千葉県美浜区高洲 3-4-12-101

TEL 043-277-1212 Fax 043-278-9966

E-mail info@fusemasayoshi.org

千葉市議会議員

布施貴良

児童養護施設に『タイガーマスク』から贈り物！！



—児童養護施設『ほうゆう学園』提供—

子供たち お年寄り 障がい者に 優しい

福祉の街美浜をつくらう

市内の児童養護施設にも、

善意の贈り物続々と

テレビや新聞等で話題となっている、児童養護施設への『タイガーマスク』、『伊達直人』等を名乗る匿名の贈り物が、市内の施設にもたくさん届けられています。

市内には、美浜区に千葉市児童相談所の他、花見川区に「ほうゆう学園」、稲毛区に「房総双葉学園」の二施設が、若葉区に県立の乳児院があります。

ほうゆう学園では、今年の一月以降ランドセルや現金、学用品等が直接玄関先に、また郵送などで届けられたということです。房総双葉学園でも同様にプレゼントがあったそうです。

昨今の風潮として、人とかかわり合いを避けたら、あまりに自己中心であったりする人が増加していると言われていますが、何か救われたような気が致します。(裏面へ)

どんな人が寄付を・・・

どんな人が贈り物をしていいのか興味があります。このような善意と優しい気持ちが一時的なブームで終わることなく、継続的に広がることを期待しています。

児童養護施設とは

児童養護施設とは、育児放棄や、児童虐待などで社会的に養護の必要な児童を公的認可の下で、親に代わって育てる施設です。しかしながら、職員の配置基準は三歳未満児二対一、三歳以上四対一、就学児童六対一となつていますが、過去三十年以上変わつていません。職員の過重な勤務、それに加えて給与面でも恵まれないことが問題となつていきます。

子供たちが施設でより安定した、家庭的な環境で育つことを保障するため、改善が必要となつていきます。この問題は、施設関係者から切実な要望が出されていたにもかかわらず、自民党政権下ではずっと放置されてきました。

民主党政権が施設改善に取り組む

民主党政権になって、ようやくこの問題に取り組み、施設における職員増や、より家庭的環境でケアの出来る、小規模施設の増設に取り組むことになりました。

この点に関しては、子ども手当同様に、子育てを社会全体で支援するという政策に基づくものとして、評価して頂けると思います。

また増え続けている児童虐待についても、今後児童相談所の体制強化と併せて、一定の強制力を持たせた立ち入り権や虐待親と子との引き離しなど、法整備も必要と言われています。

新しい「市民福祉力」の蓄積を

日本人は、キリスト教国に比べて、寄付の伝統が薄いと言われています。しかし昔からあった良い風習としては、『寄付』と言うよりは近所どうしとか、部落、町内での「助け合い」がありました。

地域コミュニティの希薄化が言われています。地域の皆さんと共に、地域の福祉力あるいは「市民福祉力」を少しずつでも蓄えていくため、市政と地域で頑張りたいと思います。



千葉市議会議員布施貴良のプロフィール

1947年 千葉県山武郡横芝光町(旧匝瑳郡光町)宝米に生まれる。実家は専業農家、7人兄弟の末っ子。

1966年 千葉県立匝瑳高等学校卒業。千葉県職員となる。この間労働運動に参加。

1972年 県職員を辞し、旧日本社会党千葉総支部書記となる。

1979年 千葉市議会議員選挙に立候補し初当選。現在市議8期目、副議長2回等歴任。

〔現在〕

議会関係：千葉市議会議員8期目、民主党千葉市議会議員団幹事長、保健消防常任委員会委員長、保健所運営協議会委員。

民主党関係：民主党千葉県連地方議員団長、同党千葉県第1区総支部副総支部長。

地域関係：高洲三丁目自治会副会長、福祉の街美浜をつくる会代表。